

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)  
【連携事業】

幹事市町	下野市	※事業主体が地域づくり団体等の場合のみ記載すること。
構成市町	下野市、上三川町、壬生町	
事業名	新たな人の流れを生み出す1市2町連携プロジェクト事業	
事業主体の名称※	下野市・上三川町・壬生町連携会議	
代表者の名称※	(下野市副市長) 板橋 昭二	
事業主体の所在※	栃木県下野市笹原26番地(下野市総合政策課)	
事業主体の概要	<p>・団体の目的:経済、文化及び医療など多くの面で密接に関係する下野市、上三川町及び壬生町(1市2町)が地域振興や定住促進を図るため、共通する行政課題等について意見や情報交換し、一体となった課題解決策を検討及び実施することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成27年4月28日</p> <p>・構成員等:下野市、上三川町、壬生町の副市長及び担当課長 8名</p>	
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>栃木県南部に位置する下野市・上三川町・壬生町で構成する本地域は、県内人口第1位の宇都宮市、第2位の小山市の間に位置し、本地域の人口は約13万人と県内でも有数の人口規模を有する。また、平坦で災害が少なく暮らしやすい土地柄で、東京圏からのアクセス性や東西交通利便性が高い地域である。さらに医大病院や総合病院を有するなど、交通環境や医療環境で類似点も多いことから、かねてより経済・文化・消防など、多くの面で密接な関係を持ってきた。平成27年4月には、1市2町の連携を強化すべく「下野市・上三川町・壬生町連携会議」を設置し、共通する行政課題等について情報共有し、平成28年度からは具体的な連携事業として、地方創生の一環となる婚活事業に取り組みなど、政策連携を推進してきた。</p> <p>しかし、1市2町は東京圏を中心とした県外からの認知度の低迷や転出超過(特に女性)が続いており、今後の予測されている人口減少・少子高齢化の進行に対処するため、知名度を高め、(特に女性の)転入を促進していくことが当面の課題となっている。</p>	
事業目的	<p>・東京圏等からの(特に女性の)転入者数を増やす。</p> <p>・下野市、上三川町、壬生町の知名度を上げ、魅力を発信し、交流人口の増加につなげる。</p> <p>・施策等に東京圏等の女性の視点を取り入れ、地域資源の発掘、農畜産物の普及、観光周遊ルートの開拓など魅力の向上を目指す。</p> <p>・婚活という事業を通じ、参加者に1市2町に対する愛着を深めてもらうとともに、将来が囁かれるまちづくりにつながる継続的なシティプロモーションを展開する。</p>	
事業概要	<p>1市2町が連携し、以下のイベント等を昨年度に引き続き開催した。なお、昨年度の参加者からの意見等をフィードバックした内容とした。</p> <p>【平成30年度】</p> <p>◎婚活イベントの開催(第1回9月8日、第2回11月9日、第3回12月15日)</p> <p>・参加者【1回目】女性5名(下野市5名、上三川町3名、壬生町1名、宇都宮市5名、小山市3名、真岡市2名、東京圏2名)、男性21名(下野市7名、上三川町7名、壬生町7名)、【2回目】女性21名(下野市2名、宇都宮市2名、小山市1名、鹿沼市1名、茨城県1名、東京圏14名)、男性17名(下野市7名、上三川町8名、壬生町4名)、【3回目】女性18名(下野市2名、上三川町1名、宇都宮市2名、茨城県1名、広島県2名、東京圏10名)、男性19名(下野市6名、上三川町5名、壬生町8名)</p> <p>・内容:各市町(公園・公共施設等)にイベント会場を設け1市2町職員と婚活コーディネーターが地域の魅力紹介やカップル成立の支援を行った。</p> <p>・移動:(1回目)男女ともに現地集合し、バスでイベント会場や1市2町の魅力となる施設やエリアを見学した。(2回目、3回目)東京圏の女性は都内で集合し、バスで1市2町に移動し、車内で地域の魅力PRやクイズを行った。到着後、バスでイベント会場や1市2町の魅力となる施設やエリアを見学した。県内女性や男性は1市2町のイベント会場(公園・公共施設等)に集合し、女性を迎えた。</p> <p>・募集:(1回目)(男女共通)広報紙、ラジオ、HP、公共施設・商業施設等へのポスターやチラシの設置、地元企業職員等へ参加を呼びかけた。(2回目、3回目)(男性)広報紙、ラジオ、HP、公共施設・商業施設等へのポスターやチラシの設置、地元企業職員等へ参加を呼びかけた。(女性)広報紙、ラジオ、HP、婚活バスツアー専用サイト、婚活サイト会員登録者へのメール配信。</p> <p>・開催前:当日の効果的なシティプロモーションや円滑なエスコートのため、1市2町職員から地域の魅力発信について説明した。</p> <p>・開催後:さらに効果的なシティプロモーションを行うためには、どのような企画が必要であるか、1市2町職員と検討した。</p> <p>◎参加者の口コミによる地域の魅力発信</p> <p>・参加者に1市2町のSNSや動画チャンネルを登録してもらい、イベントについて魅力を感じた場所や食べ物の写真を撮影し、SNS等で発信してもらった。</p> <p>◎参加者アンケートの実施</p> <p>・ツアーの感想意見、1市2町の強み弱み等を聞く参加者アンケート調査をさらに充実(項目の追加等)させ、新たなシティプロモーション施策や農畜産物の普及、観光周遊ルートの開拓等に活用した。</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>前年度の検証や参加者からの意見等を踏まえ、新たなひとの流れを生み出す事業への発展を目指していく。</p>	
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>◆下野市:基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 【数値目標】 転入者数:H26 2,319人→H31 2,550人【H28実績 2,276人】 【KPI】 婚活スキルアップ事業数:H26 1事業→H31 1事業【H28実績 1】 婚活支援事業数:H26 1事業→H31 3事業【H28実績 3事業】</p> <p>◆上三川町:基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての支援 【成果目標】 社会増減数:H26 -140人→H31 -100人【H29実績 +24人】 結婚届出数:H25 142件→H31 160件【H29実績 140件】 合計特殊出生率:H25 1.42→H31 1.45【H29実績 1.37】 【KPI】 婚活イベント開催数:H26 1事業→3事業【H29実績 3事業】 出生男数:H26 248人→H31 248人【H29実績 240人】</p> <p>◆壬生町:基本目標③ 壬生町で結婚・出産・子育ての希望をかなえる 【数値目標】 転入者数:H26 1,346人→H31 20%増加【H29実績 1,355人】 合計特殊出生率:H25 1.32→H31 1.55【H28実績 1.33】 【KPI】 婚活支援事業:H26 1事業→H31 5事業【H29実績 1事業】</p>	

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

	28年度	29年度	30年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	<p>・婚活事業の実施・評価(3回実施) 10月、12月、3月に実施し、男性参加者延べ51名、女性参加者延べ51名で実施し、計19組のカップルが成立した。男性参加者の婚活意欲を助長させることが出来た。</p> <p>また、参加者アンケートでは、シティプロモーション効果や婚活企画への総合的な評価も高く、特に首都圏の女性参加者からは再訪問希望が約半数という結果となっており、継続的な取組が重要となっている。</p> <p>・事業の検証を実施し、次回の実施に反映する。</p>	<p>・婚活事業の実施・評価(3回実施) H29.9.26、H29.10.22、H29.12.16に実施し、男性参加者延べ51名、女性参加者延べ51名で実施し、計18組のカップルが成立した。</p> <p>また、参加者アンケートでは、ツアー内容等への総合的な評価が高く、女性参加者のおよそ半数が1市2町を再訪問したいと回答している。</p> <p>・事業の検証を実施し、次回の実施に反映する。</p>	<p>・婚活事業の企画・実施(3回実施) H30.9.8、H30.11.3、H30.12.15に実施し、男性参加者延べ57名、女性参加者延べ60名で実施し、計22組のカップルが成立した。男女で気軽に話しやすい雰囲気づくりによって、参加者の意欲向上につなげることができた。</p> <p>また、参加者アンケートでは、総合的な評価も高く、参加者の男女共に半数以上が時期開催希望と回答している。</p>	16,040,580	3,086,200
事業費	5,528,922	5,418,297	5,093,361		
市町支出金(ソフト事業分)	4,853,970	4,846,998	4,651,998	14,352,966	2,430,000
うち県交付金	2,426,985	2,423,499	2,325,999	7,176,483	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	0
その他自主財源等	674,952	571,299	441,363	1,687,614	656,200

幹事市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課 政策推進グループ
担当者名	菊地 啓吾
電話	0285-32-8886
FAX	0285-32-8806
E-mail	sougouseisaku@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	新たなひとの流れを生み出す1市2町連携プロジェクト事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市町負担金	4,651,998	下野市 1,550,666円、上三川町 1,550,666円、壬生町 1,550,666円
雑収入	7	前年度繰越 7円
参加料	435,000	内訳 第1回参加料収入 157,500円 第2回参加料収入 137,500円 第3回参加料収入 140,000円
協賛金	6,356	委託業者からの協賛金 6,356円
計	5,093,361	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
委託料	4,650,000	4,650,000	2,325,000	0	・人件費870,000円(ツアーガイド、運営スタッフ等) ・報償費299,606円 ・消耗品費141,872円(プロフィールカード等) ・印刷製本費371,400円(デザイン制作費等) ・通信運搬費321,000円(ラジオ原稿作成費等) ・使用料・賃借料108,122円(施設使用料等) ・媒体・広告費1,340,000円(SNS出稿費等) ・ツアー運用費1,188,000円(バス交通費等) ・追跡アンケート10,000円(アンケート作成費等)
消耗品費	2,000	1,998	999	2	収入印紙代
食糧費	441,356	0	0	441,356	参加者昼食代・軽食代
次年度繰越金	5	0	0	5	
				0	
				0	
				0	
計	5,093,361	4,651,998	2,325,999	441,363	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(連携事業支出整理票)

単位事業名	新たなひとの流れを生み出す1市2町連携プロジェクト事業
-------	-----------------------------

対象年度	30	年度
------	----	----

科目	精算額	下野市 支出額		自主財源等	上三川町 支出額		自主財源等	壬生町 支出額		自主財源等	◎◎市町支出額		自主財源等
			県交付金			県交付金			県交付金			県交付金	
委託料	4,650,000	1,550,000	775,000	0	1,550,000	775,000	0	1,550,000	775,000	0			
消耗品費	2,000	666	333	2	666	333	0	666	333	0			
食糧費	441,356	0	0	147,118	0	0	147,119	0	0	147,119			
次年度繰越金	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0			
計	5,093,361	1,550,666	775,333	147,125	1,550,666	775,333	147,119	1,550,666	775,333	147,119	0	0	0

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。